

各 位

上場会社名 株式会社ダイヤモンドダイニング  
 代表者 代表取締役社長 松村 厚久  
 (コード番号：3073 JASDAQ)  
 問合せ先 執行役員管理本部長 樋口 康弘  
 電話番号 03-6860-3250 (代表)

### 平成26年2月期通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月12日に公表いたしました平成26年2月期通期の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 平成26年2月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,300	510	530	174	72.40
今回修正予想 (B)	24,600	665	690	200	83.54
増減額 (B-A)	299	154	159	25	
増減率 (%)	1.2	30.2	30.2	14.3	
(ご参考) 前期通期実績 (平成25年2月期)	25,015	691	820	77	32.18

(注) 平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株式制度を採用しておりますが、前期実績につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 修正の理由

平成26年2月期通期の連結営業利益、同経常利益、同四半期純利益につきまして、平成25年6月28日公表の平成26年2月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正においては、下期以降の景気動向の見通しが不透明であったことから、平成26年2月期通期の連結業績予想を変更いたしませんでしたが、当第2四半期連結累計期間において、飲食事業が平成25年3月より6ヶ月間連続で既存店売上高が引き続き前年同月を上回って推移していること、平成26年2月期下期においても前年同様の水準で連結営業利益、同経常利益、同四半期純利益が見込まれること(平成25年9月30日時点)等から、平成25年9月30日公表の「平成26年2月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」記載のとおり、平成25年4月12日公表の平成26年2月期通期の連結業績予想を上方修正いたします。

当社グループは、当第2四半期連結累計期間においては、「個店の強み」と「チェーン店の強み」を融合させた当社グループ独自の高付加価値・競争優位性を構築・追求した「マルチ(複数)ブランド」戦略を加速させ、グループ全体で高収益業態へのブランド集約に取り組む一方、強みである業態開発力を活かし「1967」等のフラグシップ店舗を出店するなど、グループ内のブランドポートフォリオを明確化することにより更なるブランドの磨き込みに取り組んでまいりました。また、お客様に喜ばれるお店作りを追求するという原点に立ち返るため、企業理念を『お客様歓喜』から『熱狂宣言』へ昇華させ、コンセプト・空間・ストーリー(物語)の3つを、内装・サービス・料理など至るところに織り交ぜ、「非日常性」を具現化し、全てのお客様に『熱狂』的に喜んでいただくお店作りにも注力しております。

引き続き、平成26年2月期第3四半期以降も、お客様に『熱狂』的に喜んでいただくお店作りに注力する一方、昨年12月から開始した当社グループ独自のポイント制度「DDマイル」等を活用したマーケティング強化による一層の集客力向上にも積極的に取り組み、更なる連結業績の向上に努めてまいります。

※ 上記予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因により本資料記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上